

ジュリアーノ・ダ・サンガッロと古代

正会員 ○岡北 一孝*

| | | |
|---------|----------|-----|
| ルネサンス | 古代 | 集中式 |
| ジュリアーノ・ | バルベリーニ手稿 | |
| ダ・サンガッロ | | |

はじめに：イタリア・ルネサンス建築における古代

イタリア・ルネサンスの特徴が古代文化・芸術の再生運動であった以上、ルネサンス期の建築史研究においては、当時の人々の古代建築への態度を具体的に明らかにすることが欠かせない。彼らが古代の遺産をどのように扱ったのかを知ることは、建設活動の実態やルネサンス概念の解明にもつながる。しかしながら、一概に古代建築といっても、われわれが古代建築と定義するものと、当時その範疇にあったものが異なるのは当然であろう。ルネサンスの人たちはいかなる判断のもとに、眼前に広がるさまざまな過去の建築を分類し、価値づけをしていたのであろうか。古代建築とそうでない建築、言い換えると、手本とすべきモデルである建築とそうでない建築が、どのような基準で切り分けられていたのであろうか。

ジュリアーノ・ダ・サンガッロの古代

初期近代になり、資料が多く残るようになったと言っても、建築家たちの古代建築観やその定義を具体的に知ることができる資料はそれほど多くない。15世紀のフィレンツェにおいて、古代建築言語の導入と推進に大きな役割を果たしたジュリアーノ・ダ・サンガッロ (Giuliano da Sangallo, 1445-1516) を取りあげて、彼の古代建築への眼差しをここで検討してみよう¹。ジュリアーノは、アルベルティによる古代建築知識の体系化と理論化に続いて、さまざまなスケッチを通して、古代建築の造形的特徴や詳細を収集し、実作にいかしていった²。この素描集は、ルネサンスの建築家の「古代建築」を知るための極めて重要な証言である。

ジュリアーノの素描帖の一つで、いまバルベリーニ手稿 (Codex Barberini) と呼ばれるものの扉絵には、「この本は、建築家ジュリアーノ・ディ・フランチェスコ・ジャンベルティ、新姓ダ・サンガッロ、によるものである。ローマにて1465年に始まった古代建築の多くの実測図を含む。」³と記されている。実際にそのスケッチブックを紐解いてみると、古代ローマの遺跡だけでなく、古代末期から初期キリスト教の建築 (サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラーノ大聖堂附属洗礼堂、サンタ・コスタンツァ聖堂)、さらには彼にとっては現代建築といえる、ブラマンテ (Donato Bramante, 1444-1514) のテンピエット

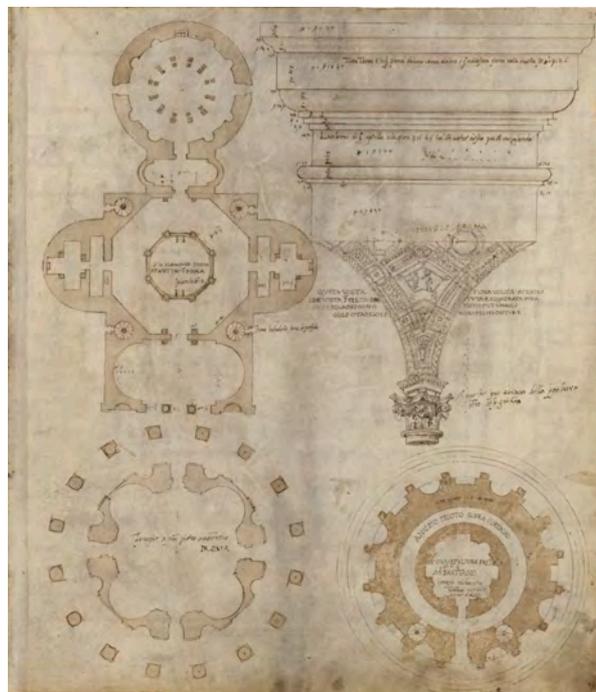


図1 バルベリーニ手稿 (Codex Barberini, Biblioteca Apostolica Vaticana, Barb. lat. 4424, fol. 41r.)

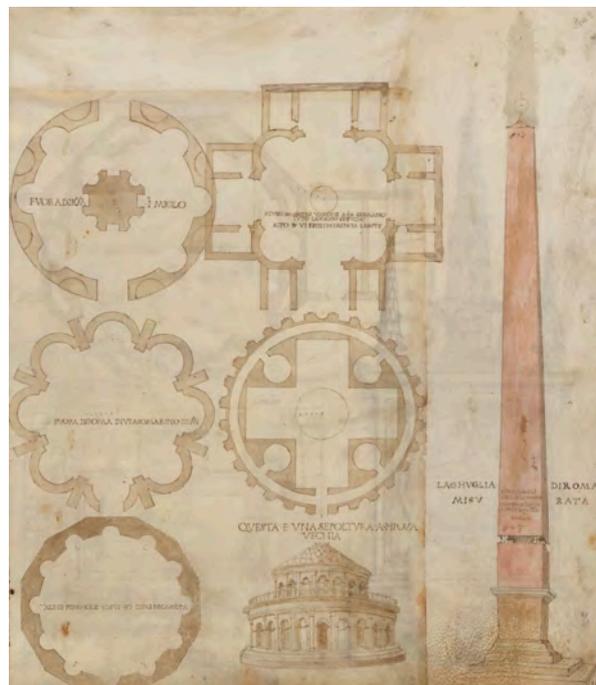


図2 バルベリーニ手稿 (Codex Barberini, Biblioteca Apostolica Vaticana, Barb. lat. 4424, fol. 10r.)

(1502年着工)も描かれている(図1)⁴。ジュリアーノはそのほかにも、ミラーノのサン・ロレンツォ聖堂、洗礼堂(フィレンツェとピサの大聖堂附属)、そしてフィレンツェ・ルネサンスの創始者ブルネッレスキ(Filippo Brunelleschi, 1377-1446)によるサンタ・マリア・デリ・アンジェリ修道院のオラトリウム(1435年着工)も描いている。彼はそもそもキリスト教と異教のモニュメントを明確に区別せず、教会や礼拝堂、洗礼堂を神殿(Tempio, Templum)と呼び、これを宗教建築の大まかな分類としている。

素描帖に収録された建築のその多様性(ビルディングタイプ、形式、装飾、地理的・年代的な広がり)は目を見張る。ジュリアーノのいう「古代」は、それが古代建築かどうかだけではなく、いまの建築創作に役立てることのできる手本・見本を意味していると思われる。そして、過去の建築を図面やスケッチで記録し、保存し、活用しようとする姿勢がうかがえる。例えば、多角形平面や円形平面をしたいいわゆる集中式平面を持つ建築の模範例として、古代神殿だけでなく、洗礼堂、礼拝堂をあわせて写しとっているのである(図1および図2)。だからといって、彼の時代認識や建物の来歴に関する正確性が欠如していたのではなく、ジュリアーノの場合は、さまざまなモニュメントが、古代建築の特徴を示すという建築の時間的連続性の強調が重要であったのであろう。

ジュリアーノ・ダ・サンガッロと集中式平面の建築

図1および図2に代表されるジュリアーノによる集中式平面の建築のスケッチは、彼が描いたすべての図面・素描の中で、他の建築家・芸術家によって、最も多く複製されたものである。すでに指摘したように、ジュリアーノが描いた集中式の建築の種類は数多い⁵。彼の素描帳が明らかにしているのは、それらの各種建築の持つ類似性が強調されていることである。ジュリアーノの集中式平面の建築素描が強い影響力を持ったのは、よく知られた古代・中世のモニュメントだけでなく、その当時ほとんど知られていなかったいわば無名の古代遺跡を組み合わ

せることで、地理的にも時間的にもばらばらの墓・浴場・神殿・教会堂という多種多様な建築物が、本質的には一致するという建築家の考えが強固に示されているからと思われる。

彼が平面図を描くときには、縮尺をつけ、壁の厚さをインクで塗りつぶして表している。それぞれの場所、機能、寸法が異なるにもかかわらず、それらを同じような大きさで、一貫した表現にすることで、統一感と親和性を持たせている。つまり、バルベリーニ手稿では、多様な図面が集められて、過去の建築が共通して持つ「集中式」という特徴が、古代以来の建築の一貫した体系の如くに提示されているのである。

15世紀から16世紀初頭の建築家たちは、円形平面のものを中心に集中式平面の建築を計画していたが、実際に建設されることはほとんどなかった。ジュリアーノは、注文主ロレンツォ・デ・メディチ(Lorenzo de' Medici, 1449-92)の影響下で、プラートにサンタ・マリア・デッレ・カルチェリ聖堂(1484年着工)を建てた。ジュリアーノが素描で示したような、湾曲した壁面に壁龕を組み合わせた複雑な構成をもつ建築ではなく、比較的単純なギリシャ十字形の平面のためなのか、素描の中に描かれた建築に比べると後世への影響力は小さかった。

おわりに

バルベリーニ手稿は、ルネサンス期における古代建築の認識や、彼らの過去の建築の継承がいかに多様であったのかを教えてくれる。ジュリアーノはパッラーディオ(Andrea Palladio, 1508-80)やセルリオ(Sebastiano Serlio, 1475-1554)のように言葉を操るのではなく、図面、装飾、材料、構造などの建築の「かたち」という具体的な要素によって、自身の歴史観を表明している。のちの建築家たちにとってのパンテオンのように、ある古代建築を神格化あるいは古典化することで、様式的な序列を示すのではなく、ジュリアーノは異なる地域や時代の建築を並列的に描き、記録することで、「古代建築」を時間や場所に縛られない普遍的なものとして描いている。

注

¹ 本稿は、拙稿「初期近代のサン・ピエトロ聖堂造営事業からみた建築の生と死：建築の永続性をめぐって」、『カルチュラル・グリーン』、vol. 4、2023年3月、3-28頁をもとに、ジュリアーノ・ダ・サンガッロの古代観の検討をさらに進めたものである。

² 近年、ジュリアーノ・ダ・サンガッロに関する研究が相次いで出版された。Cammy Brothers, *Giuliano Da Sangallo and the Ruins of Rome*, Princeton, Princeton University Press, 2022; Giuliano da Sangallo, a cura di Amedeo Belluzzi, Caroline Elam, Francesco Paolo Fiore, Milano, Officina, 2017; Sabine Frommel, *Giuliano da Sangallo*, Firenze, EDIFIR, 2014.

³ バルベリーニ手稿(Codex Barberini, Barb.lat.4424)はヴァチカン図書館のデジタルライブラリーで見ることができる(URL:

https://digi.vatlib.it/view/MSS_Barb.lat.4424, 2023年4月3日閲覧)。「Questo libro è di Giuliano di Francesco Giamberti Architetto Nuovamente Da Sangallo chiamato e molti disegni misurati et tra[t]ti dallo anticho chominciato adns meccclxv In Roma.»

⁴ この1枚に描かれた4つの平面図は、左上：サンタ・コスタンツァ聖堂、左中央：サン・ジョヴァンニ・イン・ラテラーノ大聖堂附属洗礼堂、左下：テンピエット、右下：ローマのサン・セバスティアーノ聖堂の近くの墓廟。

⁵ 図2の6つの集中式の建物は、左上：アッピア通りの墓廟、左中央：ローマ近郊の墓廟、左下：トリベルゴールの浴場、右上：カッシーノ近郊の古代の別荘の部分図、右中央と右下：サンタ・マリア・カープア・ヴェーテレ近郊の墓廟。